



アスンシオン通信

日付: 2025 年 2月27日 no.24

発行者: 田邊紘起

¡Hola !¿ Como están?

今年度もあとわずかとなりましたね。各学級でも最後のまとめをしながら、4月の進級進学に向けてよいスタートが切れるよう、もう一息がんばっていきましょう。

さて今回は、最近様子が変わってきたアスンシオンのお店のことなどをお伝えします。

パラグアイの新年度は2月スタート！

アスンシオンのほとんどの学校は、11月の終わりにその学年が終了し、長い長い夏休みに入ります。その夏休みは2月の終わりまで続きます。丸々3ヶ月近い夏休みが終わるころ、新年度に向けて街中が盛り上がり始めました。スーパーマーケットには進級進学する子供向けの学用品コーナーが増設され、たくさんのノートや文房具が並びます。通学カバンは日本のようなランドセルではなく、カラフルなキャラクターが付いたリュック型でスーツケースのようにコロコロ転がせるタイプが主流です。私の娘たちが通う学校でもこのタイプのカバンをもった友達がたくさんいます。教科書などが重くて背負うのが大変なので、転がして運びます。

パラグアイでは11月にその年度が終わり、2月から新年度が始まるので、日本のような「早生まれ(1月～4月1日生まれまで)」というものはありません。同じ学年の友達がみんな同じ年の生まれなので分かりやすいですね。日本のように学年が4月に始まる国ばかりではないようです。学校についても、それぞれの国の事情があるようなので、調べてみれば面白い発見があるかもしれませんね。



新年度に向けた学用品セールの中心にならぶカバン=supermercado s6

アスンシオンのラーメン屋に行ってみた！

先日アスンシオンにあるラーメン屋に行ってみました。店の提灯にカタカナで「ラーメン」と書いてあり、うれしくなりました。店に入ると早速、醤油ラーメンや餃子など、ラーメン屋っぽいものを選んで注文しました。

少し待っていると、店員さんがラーメンを持ってきてくれました。「日本のラーメンにもちくわが入ってたかな？」と考えながら見ていると、続いて餃子も運ばれてきました。食べる時は、もちろん箸 (Palillos : パリージョス) を使って食べます。日本でやるように麺をズズズズっとすすって食べていたら、周りのお客さんの冷たい視線を感じました。外国では食事中

に音を出すのは行儀が悪いことで、麺をずるずる音を立ててすすするのは下品なこととされているので注意が必要です。

ラーメンの麺はうどんのような感じでしたが、久しぶりにラーメン屋の雰囲気味わうことができたのでうれしかったです。アスンシオンでも日本の食文化が受け入れられていて、いいなと思いました。ちなみにラーメンを頼んだ現地のお客さんも箸を使って食べていました。もちろん麺をズズズっとすすすることはせず、一口ずつ噛み切りながら食べていました。私はうつわを手で持ち上げてスープを飲みましたが、外国ではそれもマナー違反で、現地の方はレンゲを使って少しずつ静かに飲んでいました。アスンシオンには他にも日本食レストランがあるので、また機会があればチャレンジしてみようと思います。





ラーメンの提灯が飾られた店内とちくわがトッピングされたラーメン=keiko ラーメン

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Haku(ハ クー):暑いですね。

「暑い」ことをあらわすグアラニー語です。毎日暑いパラグアイでは一日に何度も「Hace mucho calor(アセ ムーチョ カロール):とても暑いね」と話をします。そこで「Haku」と言うと、パラグアイの人は嬉しそう

に明るく大きな声で「Haku〜!」と返してくれます。グアラニー語が話せる外国人には、より親密に接してくれるパラグアイ人に思わずこちらも笑顔になります。

次回について

今回は今年度最後のアスンシオン通信になると思います。一年間住んでみた感想などをまとめます。

Chao chao!nos vemos!